



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第162号平成27年11月25日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

農大生と関係者の懇談会を開催！！ 地元の農業について学びました

盛岡農業改良普及センターでは、岩手県立農業大学校と連携して、出身地域等の農業関係者と懇談、地域農業の視察等を通じ、学生に地域農業への理解を深めてもらうことを目的に懇談会を毎年開催しており、今年は10月9日に行いました。

午前中は、現地研修で、盛岡市の「いわて若江農園」の若江俊英さんの圃場見学、紫波町の「(株)高橋農園」の高橋淳さんから経営概要を学びました。また、午後からは、午前に引き続き先輩農業者の若江さん、高橋さんと盛岡広域ヤングファーマーズ・CREEIGHTの山本早苗さん、関係者らと情報交換会を実施しました。

参加学生は、盛岡市3名、紫波町1名、矢巾町1名、雫石町1名、他県1名で、いずれ管内に就農希望という学生が多く、熱心にお話を聴いたり、質問したりしていました。学生たちは、将来の管内の農業の担い手として期待されます。



平成27年度岩手県「食の匠」決定



平成27年11月9日に盛岡グランドホテルにおいて、岩手県食の匠認定証書交付式が開催されました。制度創設20周年の節目ということで記念交流会も同時に開催され、出席者が100名を越える盛大な会となりました。

食の匠の認定証書交付式では、今年度新たに認定された5人の方が認定証書を交付され、制度が創設された平成8年度からの累計の認定数は251となりました。

盛岡地域からは、矢巾町の村松真裕美さんが「いか汁」で認定されました。いか汁は現在では家庭料理として定着していますが、かつては農家の秋じまい行事のご馳走料理の一つであり食文化でした。新たな仲間を加え、現在、盛岡地域で活躍している食の匠は25名。郷土料理や食文化の情報発信がますます期待されます。